

ビジネスジェット機向けに快適性を高めた化粧室ユニットを紹介 エアクラフト・インテリアズ・エキスポ・ハンブルクに出展

横浜ゴム(株)(社長:南雲忠信)は、4月1日から3日間、ドイツのハンブルク・メッセで開催されるエアクラフト・インテリアズ・エキスポ・ハンブルク 2008に出展する。展示のメインはラバトリー・モジュール(化粧室ユニット)で、客室と同じ窓を2つ備え、間口幅が従来の1.5倍のゆとりと快適性を追求したモデルを紹介する。近年、座席数を減らし快適性を高めたビジネスジェット機の需要が伸びており、同モデルはビジネスジェット仕様のボーイング737機向けに開発した。

エアクラフト・インテリアズ・エキスポは最新の航空機用内装品・設備が一堂に集まる世界的な展示会で、毎年4月にドイツ、9月に香港で開催され、昨年のハンブルク展示会には500社以上が出展した。世界のエアラインや機体メーカーの関係者が多数来場するため、知名度アップや商品アピールに最適な場として知られる。横浜ゴムは2005年から毎年出展しており、着実に知名度が上がるとともに新規受注にもつながった。

横浜ゴムはボーイング777用のラジアルタイヤを製造しているほか、ラバトリー・モジュールやタンクなどの航空機用部品にも強みを持つ。なかでもラバトリー・モジュールはベストセラー機のボーイング737向けに独占供給している。同機の生産引き上げと補修・交換用の需要増加を見据え現在、生産ラインを増強しており、今年夏に本格稼働する予定。



ブースイメージ図

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム(株) 広報部 担当: 多勢
TEL: 03-5400-4531 FAX: 03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570